

平成22年度 地域密着型金融の取組結果について

平成23年6月



I. 全体的な取組内容

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

取引先ランクアップや事業再生支援については、引き続き最も重要な施策として位置付け、92社を支援先として経営改善のサポートを行っております。また、「起業家支援センター」の活動や、各市町村と連携した独自の創業支援資金などにより、創業や新事業創出についても引き続き積極的に取り組みました。

お客様の販路開拓支援・海外進出支援については、ビジネスマッチングを複数回開催するなど積極的に取り組みました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底

今年度は、基幹産業である漁業においてさんまの水揚げ不振であったことから、「さんま水揚げ減少対策支援資金」を創設し、関連産業を含めて円滑な資金供給に努めました。また、農業者向け融資を積極的に推進するため、農業経営アドバイザー資格の保有者を6名育成したほか、日本政策金融公庫農林水産事業との業務委託契約を締結するなど、態勢の整備を進めました。

また、多様化するお客様のニーズにお応えできるよう、研修などへ職員を積極的に参加させ、人材のレベルアップを通じて事業価値を見極める力の強化およびサービス品質の向上を目指しました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

「地域振興室」を主体に、今年度も産業クラスター事業や産学官連携ベンチャーの共同研究など、地域の優れた資源を活用するための事業に積極的に取り組みました。また、青少年に対する金融教育の実施により、次世代の地域経済を担う世代の育成を行ったほか、地公体・経済界と金融懇談会を開催して意見交換を実施するなど、地域経済への貢献に努めました。

また、経営をはじめとした各種の専門知識を持つ外部専門家と連携を図り、お客様の専門的なご相談への対応を強化するなど、地域への情報提供にも積極的に取り組んでいます。

4. ガバナンスの強化

今年度は、昨年度より創設した経営評議員会において、評議員の人数を更に拡大し、当金庫の経営に対して多様なご意見をいただいております。また、会員の皆様からも会員アンケートを通じて多数のご意見をいただいております。これらを活かして、ガバナンスと経営品質の向上に努めています。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化（1）

①創業・新事業支援

具体的な取組	実施内容
▶創業・新規開業の実現への支援	・起業者支援センター、営業店での創業融資実行 19件 240百万円
▶自治体と連携した独自の創業支援融資の推進	・根室市、中標津町、釧路町と連携した創業支援資金による創業支援の継続

②販路開拓支援

具体的な取組	実施内容
▶商談会の開催	・伊藤忠商事(株)個別商談会 ・セルコグループ個別商談会 ・E北海道ねむろのくに商談会 ・しんきん海外販路開拓商談会（信金中金主催）への斡旋

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化（2）

③経営改善支援・事業再生支援

具体的な取組	実施内容
▶取引先の経営改善支援	<ul style="list-style-type: none">・経営改善支援の取組 ※ランクアップ率の年度目標10%経営改善支援取組先数 92社債務者区分ランクアップ 件数 3件債務者区分ランクアップ 率 3.2%
▶中小企業再生支援協議会等、関連機関との連携	<ul style="list-style-type: none">・中小企業再生支援協議会との具体的案件の取組 1社・中小企業再生支援協議会との個別相談会参加・中小企業基盤整備機構との連携による農商工連携、地域資源活用事業の推進・企業再生支援機構への個別案件相談・食品加工研究センターと連携した技術相談の実施・食品加工研究センターとの共催による商品開発セミナーの開催

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底（1）

①不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進

具体的な取組	実施内容
▶不動産担保に依存しない融資の取組	<ul style="list-style-type: none">・農漁業者向け融資の取組み （商品名：ファーマーズサポート、ファーマーズサポートⅡ、フィッシャーズサポート）・基幹産業の悪化に対応した融資商品の創設 （商品名：さんま水揚減少対策支援資金）・東日本大震災の被災者に対する特別支援資金の創設 （商品名：東日本大震災特別支援資金）・個人事業主向けの貸金業法改正対応の新商品の創設 （商品名：快決みらい）・顧客管理システムの活用による定性情報を重視した融資推進・中小企業金融円滑化法への適切な取組み

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底（2）

②企業の将来を見極める力、融資判断力の向上

具体的な取組	実施内容
▶企業の将来を見極める力、融資判断力の向上	<ul style="list-style-type: none">・ 農業分野への目利き力の向上等<ul style="list-style-type: none">✓ 農業経営アドバイザーの養成 6名合格✓ 農業経営アドバイザーミーティング（日本政策金融公庫）1名参加✓ 日本政策金融公庫農林水産事業との業務提携によるノウハウ補完・ 研修による人材育成<ul style="list-style-type: none">✓ 目利き力養成講座（北海道信用金庫協会主催）4名受講✓ 企業再生支援講座（同上）1名受講✓ 貸出法務基礎講座（同上）5名受講✓ 支店長講座（全国信用金庫協会主催）7名受講✓ 融資トレーナー研修（内部研修）4名受講

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

①地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生の取組

具体的な取組	実施内容
▶地域全体の活性化に向けた取組	・「根釧台地金融経済懇談会」を2回開催し、地方自治体や経済界との意見交換を行う。
▶地域資源の活用、地域産業の創出	・産業クラスター事業への参画
▶産学官連携ベンチャーの共同研究への参画	・農林水産省委託事業である「超低燃費航行を実現するハイドロゲルを用いた船底塗料の開発」への参画を継続。
▶東日本大震災の被災地への支援	・東北地方および根室釧路地域で津波の被害を受けた自治体への義援金を提供

②地域活性化につながる多様なサービスの提供

具体的な取組	実施内容
▶小中学生のための金融教育の実施	・根室市、釧路市、中標津町の三ヶ所で金融教育を実施
▶まちづくり、地域活性化へのサポート	・景観コラボレーションへの参画 ・医心伝信ネットワーク（赴任される医師と住民の交流ネットワーク）への参画 ・ピアノコンサート、展示会などロビーイベントの開催
▶地域への情報発信	・地域の経済調査、経営情報などのレポートを年4回発行

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

4. 経営力の強化

具体的な取組	実施内容
▶お客様のご意見を経営に反映するための施策	<ul style="list-style-type: none">・「オピニオンリーダー懇談会」を2回開催・会員の皆様を対象にアンケートを実施・「経営評議員会」を2回開催
▶経営管理（ガバナンス）の強化	<ul style="list-style-type: none">・リスク管理関連の各種規程を見直し、リスク管理態勢を強化・東日本大震災を教訓として、災害時の行動基準などの見直しを実施